

## 福祉サービス運営委員会だより

平成 26 年度 第 1 回福祉サービス運営委員会が、10 月 21 日大分県福祉会事務局会議室で開催された委嘱状交付の後大久保氏を委員長に選任し、事務局及び各施設の現状と苦情や要望の状況を中心に協議が行われた

### 1、事務局

別府厚生館の利用者を名乗る方から、職員の支援の仕方について話を聞いてほしいとの要望があり、日時を約束し訪問したが関係者は現れなかった～支援に係る職員研修の実施（事務局長参加）

### 2、別府厚生館

#### ○苦情・要望について

- ・退所した利用者からの電話やメールで迷惑～施設のほうから該当者にお問い合わせ
- ・隣室の騒音～常会で注意

#### ○ヒヤリハット（11 件）

- ・入浴中幼児が転倒して鼻血 ・電熱器の不適切な管理 ・天井からの水漏れ ・ヘアアイロンでの火傷
- ・児童間でのトラブル ・雑草を食べる

#### ○課題

- ・利用拡大 ・保護者への支援のあり方（金銭、調理等） ・思春期児童への性教育
- ・アセスメントの作成

### 3、うえの園・清明あけぼの学園

相談支援事業所の開設

#### ○苦情・要望について

- ・食パン以外も食べたい～定期的に菓子パン等提供
- ・夏休みの平日外出したい～担当職員と実施
- ・同室者の言葉がきつくストレスに～適切な言葉遣いについて話し合い

#### ○ヒヤリハット（19 件）

- ・転倒 ・利用者間の暴力 ・服薬 ・食事トラブル ・交通事故 ・施錠忘れ ・器具紛失その他

#### ○園内虐待防止委員会での見直し

- ・利用者への接し方や言葉遣いの見直し、長時間待たせない対応
- ・利用者の変化～自傷行為、生活リズムの急変

### 4、森の木

入所児童 45 名（定員 52 名）小規模児童養護施設「さくら」開設

#### ○苦情・要望について

児童から

- ・職員の荒い言葉遣い ・上級生が部屋に入ってくる ・食事がおいしい ・茶道教室で褒められた

保護者から

- ・担当職員が替わりすぎ ・入所児童の児童手当を借用したい 地域から・森の木の子からたたかれた

#### ○ヒヤリハット

- ・交通事故（6 件）～安全運転マニュアル作成 ・個人情報の保護について再度研修

#### ○キラリ・グッド

子どもの気持ちに寄り添ったアイメッセージによる支援

### 5、滝尾保育園

入所園児 151 名（定員 120 名）

#### ○苦情・要望について

- ・土曜保育について ・連絡帳の内容 ・送迎時の周辺住民の駐車 ・近隣より 夏祭りの発電機の騒音

○ヒヤリハット

- ・友達と引っ張り合いで本棚にぶつかる ・牛乳アレルギーのコップに他児に注ぐ牛乳が入る
- ・水遊び後すのこですべり眉下を切る～すのこの上に足拭きマット

○その他

- ・食物アレルギーへの対応 ・各種委員会の設置 ・防災マニュアルの見直し ・守秘義務職員心得徹底

6、明野しいのみ保育園

入所園児 139 名（定員 138 名 分園開設に伴い定員増）

○苦情・要望

- ・園での状況をきちんと伝えて欲しい 近隣から・車の減速を

○ヒヤリハット

- ・子どもの噛み付き（3 件） ・給食後転んで机の角で唇を切る

課題

- ・保育士の確保

7、利用者代表・第三者員から

利用者代表

- ・行事の際に駐車場の確保ができたのはよかった
- ・地域のかたがたとの交流が増えてきた
- ・園庭の入り口が時折開いており、防犯上好ましくない
- ・運動会で子どもの成長振りが見えた
- ・小学校との連携が増えてよかった
- ・最近ラインでうわさが広がっているのが気になる
- ・怪我等の経過報告をきちんとして欲しい
- ・最近施設の雰囲気はきつくなってきたように感じる職員の適正配置はどのようになっているか

第三者委員

- ・行事を通じて地域との交流ができている
- ・それぞれのユニットがゆったりと過ごしている
- ・職員の意欲を高めるためにも施設の理念を管理者が発信し続けることが重要
- ・コンプライアンス、行動規範の明確化～個々が基準規範を持つこと
- ・利用者や家族の方々との関係性の構築～場面を類型化し事例研究を
- ・施設を卒園した子どもの状況は？～施設の職業指導員が関わっている
- ・社会福祉法人のあり方が問われているが？～「地域における公益的活動」「経営情報の公開」が求められており、本法人では既にホームページにおいて経営情報の公開を実施

協議の後、「ネットリテラシーという言葉もあるが、利用者や保護者と共に考察する中でソーシャルメディアに関する基準規範を明確にするように取り組んでまいりたい。また、これまで「阿吽の呼吸」で行われていたものが、マニュアルが作成され、その中で自分の役割を果たすことに精一杯になっている面があるのではなかろうか。利用者や家族の方々とのコミュニケーションを十分にとること、職員がチームとして機能していくようにすることに努めるところで、利用児者の安全・安心は勿論、その最大の幸せのために取り組んでまいりたい」との決意を表明し委員会を終了した。